

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年10月9日（金）10時00分～10時45分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、知見主任安全審査官、高松専門職、

横山係長、伊藤係長、市森係員、長崎技術参与、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

木村原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
 - 3号機燃料取り出しの状況について
 - ✓ 燃料取り出し・ガレキ撤去の状況
 - ✓ 9月2日に燃料移動中に壁面付近の部材に接触し、マストケーブル等を損傷
 - ✓ 破損部の交換や、再発防止のための運転範囲見直し等を行い、10月8日より燃料取り出しを再開
 - ✓ 損傷状況・原因・対策
 - ◇ 接触により断線したマストケーブルは交換により復旧したこと。
 - ◇ つかみ具内部回路の導通不良を受け、つかみ具を分解点検した結果、コネクタケーブルの断線と内部の浸水を確認したこと。
 - ◇ 断線は、部材への接触だけでなく、防水構造であるつかみ具のコネクタが継続使用により浸水した可能性もあり、浸水による腐食等も原因の一つと考えられること。
 - ◇ つかみ具 TES 側コネクタ及びリミットスイッチとその間のケーブル交換を行い、浸水経路となる可能性のある箇所（ケーブルグランド及び内部コネクタケース）には従来のパッキンのみのシールに加え、シール材での補強も行ったこと。
 - ◇ 内部浸水による腐食が、回路の導通不良にどの様に影響するのか、今後も原因究明を継続すること。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認した。

6. その他

資料：

- 3号機燃料取り出しの状況について
- 1F-1 オペフロダストモニタのBG計数率の測定記録
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2020年10月2日～2020年10月15日）

- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について(2020年10月2日~2020年10月8日)
- 2020年9月末時点での今後の電源計画について(定期報告)